

# 地域おこし協力隊

通信

VOL.98

教育担当 松田大地隊員



こんにちは。地域おこし協力隊員の松田です。

去る1月15日に行われた「書き初め会」に今年も講師として参加させていただきました。3年連続での開催となり、嬉しいことに昨年を大きく上回る参加者が集まりました。特に、約20名の小中学生が寒さと大雪に負けずに参加してくれました。ご参加・ご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

参加された皆さんが真剣な表情で太い筆を操り、大きな紙に力を込めて文字を書いていた光景が印象的でした。また、納得のいく作品の完成を目指し、積極的にアドバイスを求めたり、2時間を過ぎてもお書き続けたりする姿も見られました。この書き初め会を通して、書道の魅力や楽しさを1人でも多くの方に届けることができたのであれば嬉しい限りです。

この幌延町は金田心象先生ゆかりの地であり、私は、その歴史や文化を大切にしながら、町内の皆さんが気軽に参加できる書道イベントを考えています。子供から大人まで多くの方が楽しめる企画を実施し、町の魅力を引き出すようなイベントを企画していきます。地域の皆さまと一緒に楽しいひと時を過ごせるよう、これからも尽力してまいりますので、どうぞお楽しみに！



気 象 台 一 口 メ モ

## おっかない融雪

長かった冬もあと少しで終わろうとしています。冬の終わりを感じさせるこの時期、特に気を付けてほしい災害が「なだれ・河川洪水・土砂災害」です。「なだれはまだわかるが、河川洪水や土砂災害は大雨の降る温かい季節でないの？」そうお思いになるかもしれません。でも、平成16、22年の春には稚内市で、平成11、13年の春には礼文町で、土砂災害が起きています。夏の間は大雨に伴って発生する河川洪水や土砂災害ですが、積雪が残る春先は雪解け水が加わるため、比較的少ない雨量でも発生することがあります。宗谷地方でも3月になると低気圧が接近・通過するときに気温が上昇し、暖かく強い風によって雪融けが急激に進み、多量の雪解け水により河川洪水や土砂災害、浸水害などが発生することがあります。そのような時、気象台は「融雪注意報」や「洪水注意報」を発表し注意を呼びかけます。

さて、もうひとつ気にかけたいのが「なだれ」です。春先に気温が上昇したときは、積もっている雪すべてが斜面を滑り落ちる「全層なだれ」が発生する可能性があります。厳冬期に起きやすい、表面の新しい雪だけが滑り落ちる「表層なだれ」ほどのスピードはありませんが、「全層なだれ」もかなりのスピードで流れ下るので人の足では逃げきれません。つまり、なだれを見てからでは避難が間にあわないのです。レジャーなどで山へ入る際には、その地域に「なだれ注意報」が発表されていないか確認してください。もちろん、身近な「なだれ」である「屋根からの落雪」にも注意してくださいね！

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話 0162-23-2679